

世界に一つ 達成感満喫

発達に課題があったり対人関係や学習に困難を感じたりしている子どもたちが、草津市草津の市まちなか交流施設「くさつ夢本陣」で箸作りを体験した。

発達障害児を対象に家庭教師の派遣や学習塾の経営をしている同市大路の「アットスクール」が、喜びや達成感を味わいながら社会性も身につけてもらおうと

企画した。

県内の小学3年～高校2年生の30人が参加。かんや紙やすりを使って厚産ヒノキの角材を自分の指に合う大きさで削り、世界に一つだけの箸を作った。同市大路の兎本しおりさん(10)は「かんなどで削るのが難しかったけど、先生に教えてもらいながら上手にできました。宝物にしたいです」

とうれしう。

子どもたちは自作の箸を手にかまどで炊いたご飯と豚汁を味わった。アットスクールの鈴木正樹代表(43)は「みんな積極的に取り組んでくれました」と子どもたちの頑張りを目を細めていた。

難しいところは手伝ってもらいながら世界に一つの箸作りに熱中した

